

## ● 視察研修に参加して

梅田ルミ子

「産直センターひらか」は、おおに弘前インターを降り10分ほどの場所にあり、近くにはショッピングセンターが立ち並ぶ交通の便に恵まれた所でした。

冬期間ということもあり葉物野菜は少なかつたのですが、たくさん加工品が並んでいました。この地域は、津軽の桃が採れるそうで、その桃を加工したソフトクリームやスイーツが人気だそうです。大きく食べ応えがありとても美味しかったです。

また、豆腐やお花のコーナーでは、切り花や鉢物などきれいで新鮮な花々がたくさん並んで、店内はとても活気づいていました。今回学んできたことを、今後の活動に生かしていきたいと思えます。

## ● 視察研修報告

牧野 篤子

「産直センターひらか」はJAの管理で、私たちの直売所の運営の仕方の違いを知る事ができたのが大変勉強になりました。

りんごの産地と新しく桃の産地になったとの事。大変おもしろかったです。



す。また、夏は南八甲田高原野菜・大根などが1日にトラック何台分も売れるそうで、夏の涼しさがうらやましく思いました。

2日目の「アグリのリおいらせ」は冬場に温泉熱を利用して「いちごバナナ」などが栽培されています。日照時間が神奈川県と同じだということと、立地条件がうらやましく思いました。

どちらの直売所も私たちの直売所とは、全く違った運営の形でしたが、それぞれの良い所をこれからの子どもたちの活動に役立てたいと思えました。

## ● 研修を終えて

清水 勝子

1日目の「産直センターひらか」は八甲田のすぐふもとで、寒暖の差が激しい気候をいかした高原野菜、りんご、モモが目玉。もちろん山菜、キノコと山の幸有りです。トラックで野菜を生産者が何台も運び、それがまたたく間に売り切れの状態となる

というから驚きです。

「アグリのリおいらせ」は、体験型観光農園が売りで、地元食材・自分の作っているものを活用するレストラン、冬期間に負けない強い直売所を、とのことで、バリアフリーのイチゴ摘み取り、体験型工房、熱帯果樹園、水耕プラント、天然足湯、動物ふれあい等など、なんとも広い土地に広い駐車場有りでどちらもうらやましく思いますが、来客数の減少はどこも同じ悩みで、産地間の物産交流を考えているそうです。

福祉との繋ぎ合わせ事業を展開するアグリのリですが、私達直売所、ドラゴンも、子供↓学校、お年寄↓施設、障がい者との関わりをもつようにできればと思いました。

## ● 視察研修に参加して

安部 伸子

「産直センターひらか」は、りんごが豊富でしたが、花きも溢れんばかりに充実していました。また、野菜や果物加工等六つの部会があつて、部会毎に話し合いをして取り決めていくことなどのお話を伺いました。津軽の桃の産地なので、次は是非旬の九月に行きたいと思えました。

「アグリのリおいらせ」は、「見る、収穫する、食べる、ふれあう」をテーマとしているだけあって、とても魅力ある施設でした。苺農園は、夏苺と冬苺の両方を栽培していて、通年美味しい苺が食べられます。実際に見ると圧巻の広さでしたが、面積が広いいため急激な温度変化が少なく、年間を通して品質の良い苺を栽培出来るそうです。

もち小麦の販売にも取り組んでいて、試食で頂いたもち小麦で作った団子入りのぜんざいも美味しかったです。私もお菓子に使ってみたいと思いました。敷地内には、農園レストランやバナナハウス、足湯などがありました。一日いっぱい楽しめそうなお総合観光農園は、産直も年々厳しくなる時代に、素晴らしい施設だと思いました。

## ● 視察研修を終えて

児玉 妙子

「産直センターひらか」は、八甲田高原野菜と、りんご、桃などのくだもの、色とりどりの花が豊富にそろっていました。今の時期は桃を中心にソフトクリームやシロップ漬けに加工して出荷しています。

「アグリのリおいらせ」は、年中とれるイチゴ、バナナ、パイナップル。本当に北国の直売所なのかと思えました。

イチゴ、バナナ、パイナップル、その他の野菜も加工して直売所やレストランなどに出荷されています。私達ドラゴンフレッシュセンターもすぐにはまね出来ない所もありますが、多くのお客さんが、多くのお客さんが来てもらえる様に視察して来たことを取り入れたいと思いました。

